

韓国中高校生の日本と日本文化への意識・行動の特徴と 相互理解教育の課題—10年間の継続調査をふまえて—

○馬居政幸（静岡大学） 李明熙（韓国国立公州大学校） 夫伯夫（韓国慶熙大学校） 関根英行（韓国東義大学校） 外山智徳（静岡大学） 阿部耕也（静岡大学） 磯山恭子（静岡大学）

1. 本調査研究の経緯

我々は95年度から科学研究費補助金（研究代表者馬居）により韓国青少年の日本と日本文化への接触状況や評価に関する調査研究を次の4期にわたり実施してきた。1期：95年度（国際学術研究）「韓国における日本の大衆文化についての調査研究」2期：96～98年度（国際学術研究）「韓国における日本の大衆文化についての調査研究」3期：99～01年度（基盤研究B2）「韓国における日本文化開放についての調査研究」4期：02～04年度（基盤研究B2）「韓国における日本文化開放と韓日相互理解教育についての調査研究」

2. 1、2、3期の調査結果の概要

1期ではソウル市での調査から、戦後（解放後）50年を経てもなお反日意識が育成され続ける社会過程を把握する一方で、日本の大衆文化が韓国青少年の日常生活に広く浸透し、しかも、初等学校→中学校→高等学校と成長するにしたがい接触頻度や関心・意欲が高まる傾向を確認できた。

2期では調査地を韓国全土に広げての3年間の継続調査から日本文化の青少年への浸透拡大と反日意識に基づく非難の減少を把握。その背後に社会意識的にはOECD加盟に象徴される経済力や政治力への自信、社会構造的には新中間層の定着と日本文化に違和感のない若者（新世代・X世代）の増加があることを確認。加えて97年末の経済危機と大統領選挙に伴う日本文化の評価への影響調査から次の社会過程の進行を確認。①経済成長と民主化の流れが相互に補完しつつ定着し、経済危機や選挙による変化を吸収する新中間層の拡大と社会意識の成熟化が進行。②急激な情報化と世界化（国際化）により反日意識の前提にある自民族中心主義的価値意識の相対化の進行。

3期では00年度の時点で、日本文化開放政策実施前後の韓国社会の変化を次の三点にまとめた。①青少年の世界に日本文化がリアルタイムで広がる基盤が既に成立。②青少年の日常経験と結びつく行動や文化のレベルで、日本と日本人に対する肯定的・積極的な興味や評価が高まる傾向。③日本文化開放施策は開放方法や進行度の問題とは別に、日本文化や日本人への拒否感を和らげる契機。

ところが01年2月実施の質問紙調査で日本へのイメージがプラスからマイナスに転じた。いわゆる教科書問題の影響と考えられ、より詳細な調査を実施。その結果、次のような日本批判の三種の層と二種の問題点の指摘を把握した。①自己の経験をもとに日本批判を展開できる中高年の男女（旧世代）。直接経験者の高齢者に加え、朝鮮戦争で荒廃した国土に生まれ、復興の厳しさとともに育った40～50代も含まれ、最も厳しく反応。②経済成長後の韓国に育った20代後半から30代にかけての新世代と総称される男女。旧世代に対抗し日本文化を積極的に摂取。本来は教科書問題より自分の生活や子どもの進学を優先させる層だが、親類縁者から過去の苦難を当事者の情感を伴って直接感得ができた世代。子ども時代に獲得した知識と感情のセットが蘇える。③急激に普及したインターネットの世界から学ぶ10代の男女（N世代）。PCを自在に操作する中学生を典型に、最も新しい世代がインターネットを介して最も古い旧世代の経験に基づく知識と感情を獲得。インターネットの普及が却ってハングルでしか解せない閉じた言語空間の密度を高め、旧来の日本批判再生産の新たな社会過程が形成されつつあることを把握。他方、このような日本批判に対し、①感情的になってはならない、②韓国の教科書にも問題がある、との指摘がなされていることを確認。

3. 4期10年の調査結果から

4期では、上記の調査結果をふまえ、次の観点から調査を実施してきた。①日本文化開放政策の進行に伴う韓国青少年の意識と行動の変化把握のための継続・発展調査。②日本理解・批判に関係する多様な学習機会等の青少年への影響とその社会的文化的基盤解明のための調査研究。③日韓の相互理解教育のプログラム開発のための調査。

本発表では、中高校生への質問紙調査を中心に、した4期10年にわたる継続調査と02年W杯共催や大統領選挙で顕著になった変化を踏まえた新調査の分析に基づき、日韓両国における相互理解教育推進のための新たな課題を提示したい。その基礎作業としてまとめた調査結果の一部を次頁に図示し、詳細な資料と考察は発表時に提示したい。

図1 韓国初等・中学・高校生の日本文化への総接触頻度の変化

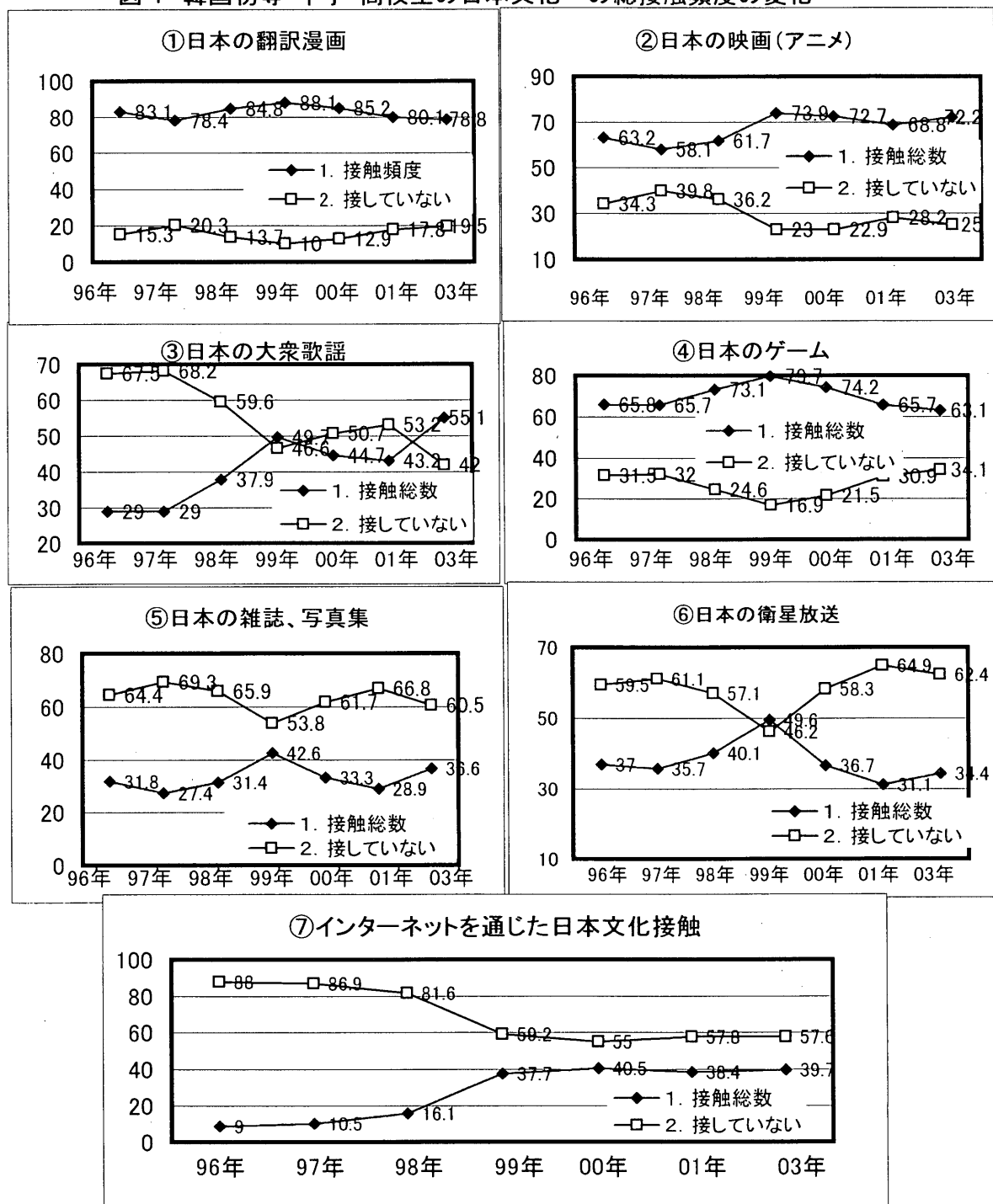


図2 韓国中・高校生の「日本や日本人に対する評価」の[肯定派][否定派]の変化から

